

第2回長浜市産業文化交流拠点整備検討会議での意見【まとめ】

(順不同)

敷地の周辺環境の分析に関する意見

- ・敷地Bに対する周辺環境の分析が欠けているので、補完してほしい。
- ・敷地Bの周辺には西中や長小があり、教育の拠点となる場所になっているので、単なる駐車場ではダメではないか。利用の仕方は駐車場でも結構だが、教育の場所にあることへの配慮はすべき。
- ・敷地Aの北側は古くからの家が多く、年配の方が多く住んでおられる。西側にはマンションもあるので、高齢者も含めた住民への騒音等への配慮は必要。
- ・敷地Aに図書館が建ち、道路を小中学生が横断するのは危険度が高いので、できれば敷地AとBを結ぶ動線は、予算もあるが、地下通路という形がいいかと思う。シニア層が図書館を利用される時に階段を上って渡るのは難しい。地下はスロープという形や段差の低い階段もあると思う。

配置計画に関する意見

- ・産業創造センターや商工会議所は図書館の㎡単価に合わせて建てなくても、単価の低い併用施設で十分だろうと考える。ただし、複合施設になり単価に対する商工会議所の負担が軽減されれば複合施設でもいい。
- ・産業創造センター400㎡が9割の360㎡では産業創造センターの機能が十分果たせないのでは、要望している商工会議所600㎡、産業創造センター700～800㎡、トータル1,300㎡～1,400㎡で、図書館と同じような形の3階建てで建てていただければ不満はない。
- ・建物2つが比較されるとおまけみたいに見える。一緒にしたなかで仕上げを落とし、リーズナブルな使い方をすればいい。図書館などの仕上げは耐久性のあるものを使い、商工会議所は高くないもので仕上げる等、やり方はいろいろある。
- ・産業創造センターは市の活性化に繋がるので、ある程度グレードアップし、多機能にわたる施設にしてほしい。
- ・ファミリーに見せていかないといけないので、あまりにも違うものにならないように何かうまいアイデアが出てくると分棟でもいい。
- ・誰のための、誰を利用者として見たなかでの話なのか。複合施設のメリットは何もかもが1つに入っているイメージを持つ。今後一番期待されるいろんな人が出入りするフロアや建物のイメージを考えればできれば1つが望ましい。
- ・社協に行き倒れで今食べるものもないという人が駆け込もうとする場合、2階というのが地域福祉のなかでふさわしいのかということも考えていかなければならない。
- ・公民館もこの施設が稼動する頃にはコミュニティセンターになり、また違う機能を持っているかもしれないということまで見据えて、コミュニティセンターに来た人が産業創造センターで職を探すという繋がりを考えると、できれば1つのもののなかで、近江商人の知恵を生かし、いかにたくさんの知恵を出し、低コストでよいものを造るかを先進モデルとして示してほしい。
- ・どういう活用場所を求めていくか考えた時に、最初に建物ありきで話すと、陣取り合戦みたいになってしまう。現状の公民館活動をするだけでも上へ行ったり下へ行ったり、市庁舎の多目的ルームのようなきれいな部屋では作業もしにくいと思う。できる施設のなかで市民がどういう活動をするかを視点におきながら施設や部屋をレイアウトしないと、建物ありきから考えると窮屈な感じがする。
- ・産業創造センターの機能を充実してほしい。滋賀県の経済支援施設は全て大津や草津に集中している。湖北分所のようなものをつくってほしいというなかでは、商工会議所と同じ場所にあればありがたい。
- ・材料的なことで建築のグレードが違うことになるならくっつけてしまってそこだけ分けることができないのか。
- ・お旅所の現状と近辺の交通事情から判断すると、A案の駅前通り沿いにバス乗降所を設置した場合、バスを出し入れしにくいと思う。B案の施設の北に設置し、北から南に向かって乗降所に入る形のほうがバスの動かし方はスムーズかと思う。駐車場があるので安全も含めて人の流れをしっかりと作るなかでは、B案のほうがありがたい。

・B案のようにバス乗降所を設置した場合、降りた人は必ず建物の縁を歩かないといけないのか。東側を北へ進む歩行者動線はつくるのか。
・歩道ができれば敷地の東側を歩いてもいいが、八幡宮から西の黒壁への動線を考えると、人は西へ行くほうがスムーズ。
・バス乗降所は敷地Bの駐車場内に置くことは不可能なのか。
・A案とB案の北側の駐車場は雪が解けにくい。雪の問題を考えれば、南側に駐車場があったほうがすぐ解ける。
・A案、B案は施設の北にお住まいの皆さんは日光が確保されると思う。他の案は階層が高くなると北にお住まいの方に迷惑かと思う。
・バス乗降所が北の場合、日赤から東に新しくバイパス道路ができたが、交通量のリサーチをしてあるのか。
・共結(きょうゆう)という言葉は新しい言葉なので、みんながいろんな捉え方をしている。産業交流ラウンジや文化交流ラウンジ、テラス広場、エントランスも含めて、市民が交流できる場所を共結(きょうゆう)の場と捉えて、イメージを膨らませられる提案をしてほしい。
・共結(きょうゆう)と言うと聞こえはいいが、会議室でお絵かきや絵画教室をする時、床が絨毯だとこぼしても拭けないとか、共結(きょうゆう)と言われるとすごくやりにくい。共結(きょうゆう)だからよいというものではなく、使う用途もある。
・今まで使っていた人が使えなくなり新しい人が来るのでは意味がない。どちらも使えるようにしてほしい。